

エルシーバイがギャラクシー賞 2 度目の選奨入賞！ 唐津ケーブルテレビジョン、長崎ケーブルメディアが奨励賞に！

エルシーバイ株式会社（長野県諏訪市、代表取締役社長：坂本万明）が制作した番組「満州 富士見分村～戦後 70 年の証言～」が、第 53 回ギャラクシー賞 テレビ部門選奨に入賞いたしました。

また、株式会社唐津ケーブルテレビジョン「僕らは自立するー唐津特別支援学校 高等部 3 年生ー」が、テレビ部門奨励賞、株式会社長崎ケーブルメディア「ながさき原爆記録全集①～⑮」が、報道活動部門奨励賞に入賞いたしました。

ギャラクシー賞は、NPO 放送批評懇談会が日本の放送文化の質的向上を願い、優れた番組・個人・団体を顕彰するもので、1963 年に始まり今年で 53 回目を迎えました。テレビ部門をはじめ、報道活動部門、ラジオ部門、CM 部門の 4 部門から成り、放送業界では最高峰の賞のひとつとされています。

エルシーバイ株式会社は、2007 年の第 44 回ギャラクシー賞において『『平成 18 年 7 月豪雨』における緊急報道特別番組及び一連の報道活動』で報道活動部門選奨に入賞。ケーブルテレビ事業者で初めてギャラクシー入賞を果たしたことに加え、今回の入賞により、ケーブルテレビ事業者として初めてテレビ部門、報道活動部門の 2 部門で入賞したことになります。

第53回ギャラクシー賞 テレビ部門選奨「満州 富士見分村～戦後70年の証言～」



戦前から終戦にかけて、長野県は全国で最も多くの開拓移民を満州（今の中国東北部）に送りました。しかし戦後70年が経過し、県内の市町村で最も多くの開拓移民を送った旧富士見村（現在の富士見町）の事は、地元でもほとんど知られていません。本番組では、元開拓団員とその家族合わせて12人の証言と貴重な記録映像を記録にまとめました。なぜ、多くの村民が満州に渡ったのか。そして戦後の混乱をどう生き、今、何を思うのか。「富士見分村」の歴史をたどりました。

～本件に関するお問合せは下記までお願いいたします～

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟

担当：小林、多田 E-mail: kouhou@catv.or.jp

エルシーバイ株式会社

担当：放送制作部報道課 早出 E-mail: sode.shinya@lcv.co.jp

株式会社唐津ケーブルテレビジョン

担当：取締役放送部長 亀井 E-mail: s-kame@k-people.jp

株式会社長崎ケーブルメディア

担当：放送部部长 大野 E-mail: ohno@cablemedia.jp